

1. 教育目標 「いきいきと生活し、共に育つ子の育成」

2. 目指す子ども像

- 遊びに夢中になり、喜びを味わえる子
- 自分の思いを表現できる子
- 身体もこころもたくましい子
- 相手の気持ちのわかる子

3. 今年度の実践目標

- (1) 基本的な生活習慣を確立する
- (2) 健康でのびのびと活動する楽しさを味わう
- (3) 自分の思いを言葉で伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

4. A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない E：わからない

実践目標	評価項目 (今年度の重点目標)	評価の観点	自己評価	改善の方策	学校園関係者評価	
					自己評価の適切さ	達成状況
(1) 基本的な生活習慣を確立する	①身近な人と気持ちよく挨拶しようとする	・自分から「おはよう」「こんにちは」「はい」等が言えたか ・意欲的に『あいさつ運動』に取り組んだか	B	・教師や周りの大人が見本を示していく。 ・挨拶をすることで相手も自分も気持ちよく感じられることを随時伝えられるようにする。		
	② 持ち物や身の回りの整理整頓ができる	・登園後の荷物整理が身に付いていたか ・靴箱のはきものがそろっていたか ・園内の諸室や廊下が整頓されていたか	C	・日頃からきをつけ、整頓すると気持ちよく使えることを伝えていく。		
	③手洗い・うがい等、生活のリズムが整えられる	・コロナ禍での生活習慣が身に付いていたか ・健康な生活に関心をもち、病気やけがをしないよう心掛けていたか	B	・手洗いの必要性を随時伝えながら、健康であることの大切さを感じ意識して取り組めるようにする。	・園生活だけでは達成が難しいと思われるがよくできていると思う。	A
(2) 健康でのびのびと活動する楽しさを味わう	④食べ物や命を大切にしようとする	・できるだけ好き嫌いを残さず食べようとしていたか ・動植物の世話を通して、命の大切さを感じていたか	B	・苦手な食べ物は家庭と連携して少しでも食べられた喜びを感じられるようにする。	・小学校給食を見据えて保護者の協力のもと普段食べないおかずを食べられる機会づくりをしている。	A
	⑤身体を動かして遊ぶことを楽しみ、やり遂げる喜びを味わう	・身体を動かして遊びたい環境が整っていたか ・友達と役割分担しながら、やり遂げる喜びを感じられたか	B	・芝生での運動あそびの展開を工夫し身体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。		
	⑥自らの心を動かして遊びを発見工夫し、挑戦しようとする	・遊びに夢中になり、新たな発見や工夫を楽しんでいたか ・自分なりの目標に向かって取り組めたか	B	・自分なりの目標がもてるようなサポートをする。		
(3) 自分の思いを言葉で伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう	⑦様々な人との関わりの中で、思いやりや感謝の気持ちをもつ	・友達や地域の方とふれあう中で、「ありがとう」「ごめんなさい」「大丈夫？」等の気持ちを、会話や態度で表すことができたか	B	・自分の気持ちを友達に伝える大切さに気付かせて、よりよく人間関係が築けるように支える。		
	⑧友達の話を聞いたり自分の思いを伝えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ	・安心して話し合えるような信頼関係を築くことができたか ・お互いの思いを伝えあえる充実感を楽しめたか	B	・友達同士で思いを伝え合う場が増えたが、遠慮することもあるため素直に自分の気持ちを伝える大切さに気付かせる。		
	⑨遊びを通して互いの良さに気づき、認め合う仲間づくりができる	・友達と一緒に遊びのルールを考えたり守ったりしながら、お互いの良さを認めあい、絆を深めることができたか	B	・相手のよさに気づき、絆を深められるように共感し、様々な思いや考えがあることを知らせていく。	・生活発表会で普段の友達とのかかわりの様子がかがえた。お互いを思いやる気持ちや関係も築かれていると思われる。	A